

城崎国際アートセンター基本計画を策定しました



▲イメージコラージュ

兵庫県から移譲を受けた旧城崎大会議館を活用して、コンベンション機能を維持しながら、豊岡・城崎の持つ魅力を最大限に生かした芸術文化の創造拠点「(仮称)城崎国際アートセンター」を整備し、まちのイメージアップと活性化を図るための基本計画を策定しました。

《問合せ》生涯学習課豊岡市民プラザ ☎24-3000

設置の目的と目標

◆目的

創造と交流、発信の国際的な拠点として整備します。城崎温泉の魅力とアートの相乗作用によって新たな付加価値を生みだし、城崎と豊岡市全体の活性化を目指します。

アーティスト・イン・レジデンス(AIR)を中心として、国内外からの滞在アーティストとの地域交流プログラム、発表や展示、アート情報収集と発信、アートと出会うギャラリーやカフェなど、創造性の高い空間を生み出し、インターナショナルなまち「城崎」を広く発信します。

【参考】アーティスト・イン・レジデンス(Artist-in-residence program)

各種の芸術制作を行う人物にアーティストを一定期間ある地域に招へいし、作品制作の環境を提供する事業。アーティストは、国や地域、文化の違いを越え、異なる文化・歴史の中での暮らしや、現地の人々との交流を通して、新たな創作の糧としていく。

◆目標

短期目標

集客・誘客(アートのまちとして国内外の新しい客層を開発)

中期目標

人材育成(地域交流プログラム等により創造的な人材を育成)

長期目標

地域ブランドの確立(個性的で芸術性・国際性豊かな魅力ある地域づくり)

基本理念と基本方針

◆基本理念

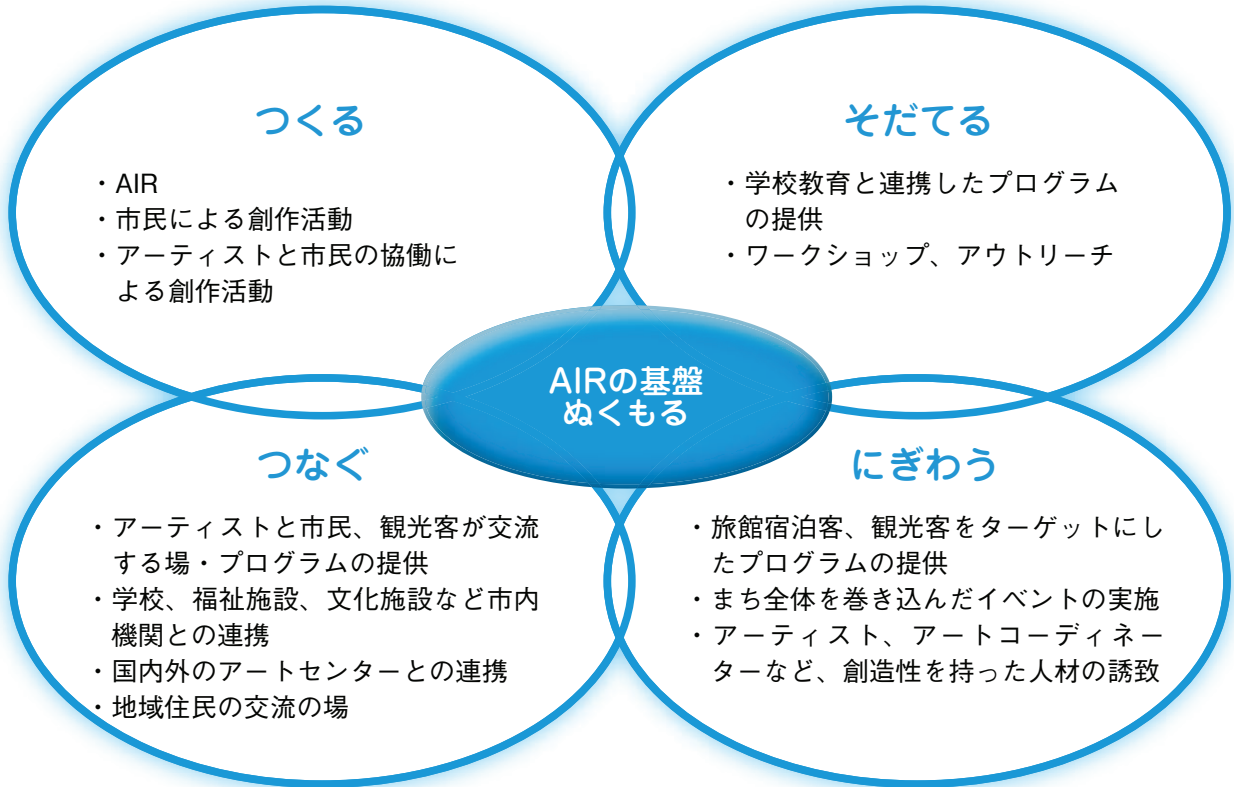
発信
AIRで生まれたアート作品や取組み、個性的なまちづくりを国内外へ発信する

交流
AIRによって国境を越え多様な人が出会い、交流し、まちの活力を増進させる

創造
地域の魅力を生かした芸術文化の国際的拠点となる



小さな世界都市 豊岡=創造都市



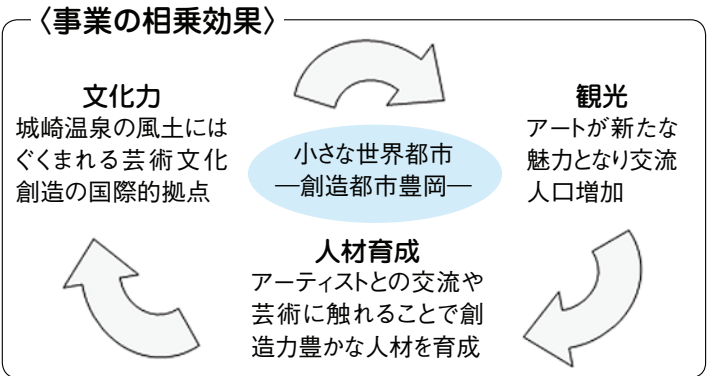
事業の構成と内容

◆三つの事業

AIR事業 国内外のアーティストが滞在し、出会いや交流を通じて創造力を高めていく

自主事業 文化芸術活動の振興、人材の発掘育成、創造都市豊岡を目指す

貸館事業 大ホール、各種スタジオの貸し出しによるアーティストのサポートと市民の活動のコーディネート



(1) AIR事業

城崎に潜在する豊かで多様な文化資源とまちの個性が

アートと出会い、新たな交流と創造を生み出す。パフォーミングアーツ(ダンス・演劇)のレジデンス施設は希少であり、大ホールと各種スタジオ、宿泊施設を兼ね備えた「(仮称)城崎国際アートセンター」は国内でも画期的なAIR施設となる。メイド・イン城崎の優れた芸術作品が国内外に発信され、地域ブランドイメージが確立されていく。

①「TOYOOKA AIRプログラム」(公募審査制) パフォーミングアーツ、ビジュアルアーツ(美術など)の各部門で審査する。

②発表支援・共催プログラム(公募審査制) 意欲的な芸術表現を試み、活動を継続的に展開している国内外の芸術家(団体)などに制作の場を提供し、成果発表を共催事業として実施する。

③自主事業「まちと人をアイトで育てる」 アウトリーチ(出かけて行く)、ワークショップ(招き入れる)事業等により、AIR

施設への住民理解を進め、地域への定着を図る。

①地域プログラム 市民とアーティストとの交流事業としてワークショップやアートセンターでの発表・展示などにより、芸術発信と地域還元を図る。

②教育プログラム 小・中・高等学校と連携協力し、先駆的な次世代育成の教育プログラムを提供する。

③大ホールなどを利用したパフォーミングアーツの発表公演 アーティストの来訪を機に公演を企画し、住民や観光客に提供する。

④アートフェスティバル 発信・交流・地域の活性化をねらいとして、まちぐるみの芸術フェスティバルを開催する。

⑤カフェ・ショップ・ショールームの運営 滞在アーティストのパフォーミングも観ることができるとなる立ち寄り・憩いの場を作る。

